TACHIBANA INTERNATIONAL
Address BLK11 LEEDON HEIGHTS #05-32
D'LEEDON SINGAPORE 267955

2020 年 9 月 7 日

株式会社立花商店　生田　渉

（新）週刊カカオニュース 20 号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。
全面的なドル安から始まった先週でしたが、徐々にドル安も是正されてきた感じが金曜日あたりには出てきましたが、以前に比べてドルの信用度はやや落ちてきたのかなという感じがしています。また、基本的に、ドル安になると殆どの先物商品がドル建てであるために、“商品の価値が一定”だとすれば、“先物の価格は上がる”という反対の動きになる事が多く、その中でも貨幣の代わりとして古代から使われていた金や銀などの貴金属は、ドル建てであり、且つ通貨の代わりとしての意味合いが強い事から、ドル安に高騰するという傾向があります。
カカオの価格もチョコレートの世界だけでなく、世界の様々な価格の中で値付けされているので、なるべく幅広い視点から見ていきたいと思います。

1. ICCO、2019／2020 シーズンの磨砕数量予測を下方修正で前年対比 15 万トン減予測(9/3)

ICCO が発表した 19 年 10 月-20 年 9 月までのシーズンにおける世界のカカオの需給バランス予測が、前回の 8 万トン不足から、4 万 2 千トンの余剰へと下方修正と発表された。
コロナの影響を受けての下方修正が理由だが、比較的カカオの需要は影響が少なく、また新物のメインクロップの作柄が雨が少なく、乾燥が続いている事や、コートジの大統領選挙の懸念でロンドンのカカオ相場はこの下方修正の一方で、上昇傾向である。（下記、ICCO 資料より）

Summary of revised forecasts and estimates

Cocoa year (Oct-Sep)	2018/19	2019/20		Year-on-year change	
	Estimates	Previous forecasts a/	Revised forecasts		
	(thousand tonnes)				(Per cent)
World production	4,780	*4,750*	4,724	-56	-1.2%
World grindings	4,784	*4,783*	4,635	- 149	-3.1%
Surplus/deficit b/	- 52	*- 80*	+ 42		
End-of-season stocks	1,718	*1,638*	1,760	+ 42	+ 2.4%
Stocks/Grindings ratio	35.9%	*34.2%*	38.0%		

2. ロンドンココア価格チャートによるトレンド分析（12 月限月）

ロンドンココア 12 月は先週月曜日から木曜日までは基本的に強気で上げ、金曜日に少し調整で下げが入りました。1820GBP を超える値段を付けたことで、コートジボアールやガーナのメインクロップの売りオファーが産地筋から多く入りました。実需が強くはないので、成約の程はわかりませんが、LID 制度を開始する 2 国に

とっては待ちに待った価格上昇といえるでしょう。

ロンドンココアは、直近月の 9 月限月の最終日を控えているため、徐々に、残数も少なくなり、価格の値決めが難しくなることで、9 月の値動きが激しくなる影響を 12 月もやや受ける可能性がありますが、基本的には買いが増えてきて来ている事、これまで安値で値決めできていなかった産地筋の値決めによる、トレーダー筋の売りが出ることで上値は重く、徐々に平行線から下降に向かうトレンドを予測します。ただし、NY の下げの方が早く、大きく出ることが予測され、ロンドンの下げはもう少し遅く緩い感じになる可能性を個人的に予測しています。ポジション的には、買いロットがまだ凄い多いわけではありませんので、すぐに売られるかはわかりませんが、上記の赤丸の RSI や STOCH といったトレンドの反転を予測する指標が下向きになりつつあることは要注意です。

3. ファンド勢のロンドンカカオ先物が売り越しから買い越しへ（9/5）

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（下記の Managed Money）がこれまでの売り越しの弱気から、買い越しポジションが 4,060 ロットとなり買い越しの強気ポジションに転じたことが、ICE EUROPE の発表しているデータから判明した。

- 1 週前までは、純売りポジションが 2,575 ロットで売り越し状態であった。
- 純買いポジションは、過去 2 か月以上で最も多く、強気の状態。
- 買いポジションの総量は 9 月 1 日までで前週より 2,361 ロット増加して、17,243 ロットとなった。買いポジションの総数量では、過去 2 か月以上の間で最も高い水準になっている
- 売りポジションの総量は 9 月 1 日までで前週より 4,274 ロット減少して、13,183 ロットとなった。売りポジションの総量は、過去 10 週間で最小の数値となっている。

Commitments of Traders **Futures and Options**

ICE Futures Europe

01/09/2020

		Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
MktDate	OI	Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
01/09/2020	256168	161112	180944	20755	11364	13430	17243	13183	11851

Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader

01/09/2020	100%	62.9%	70.6%	8.1%	4.4%	5.2%	6.7%	5.1%	4.6%

Number of Traders in Each Category

01/09/2020	135	51	47	13	6	9	22	11	10

4. ニューヨークココア価格チャートによるトレンド分析（12 月限月）

ニューヨークココアの価格は、月曜日から水曜日まで上げて、2680 ドル付近を付けた後、木、金曜日で下落し、2600 ドルを割り込んで先週は終了。ロンドンのように近い限月を控えていない事、またファンド勢の買い越しはロンドン市場よりも先に始まっており、ロット数もたまり始めていることから、先週の予測の通り、徐々に下げに転じてきたという感じがする。

5. ニューヨークの買い越しロットは過去６か月で最大の数値に(9/5)

ニューヨークカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋(Managed Money)の買い越しポジションが増加している。純買いポジション（＝Net long position ）が今週 10,538 ロット増えて、33,466 ロットに増加した。

- 純買いポジションは、過去６か月で一番強気水準（＝買い越しが多い）
- 買いポジションの総量は９月１日までで前週より 8,953 ロット増加して、58,951 ロットとなった。買いポジションの総数量では、過去６か月で一番高い水準になってきている。
- 売りポジションの総量は８月 25 日までで前週より 1,585 ロット減少して、25,485 ロットとなった。売りポジションの総量は、過去４週間で一番高いレベル。

Disaggregated Commitments of Traders- Options and Futures Combined Positions as of September 1, 2020

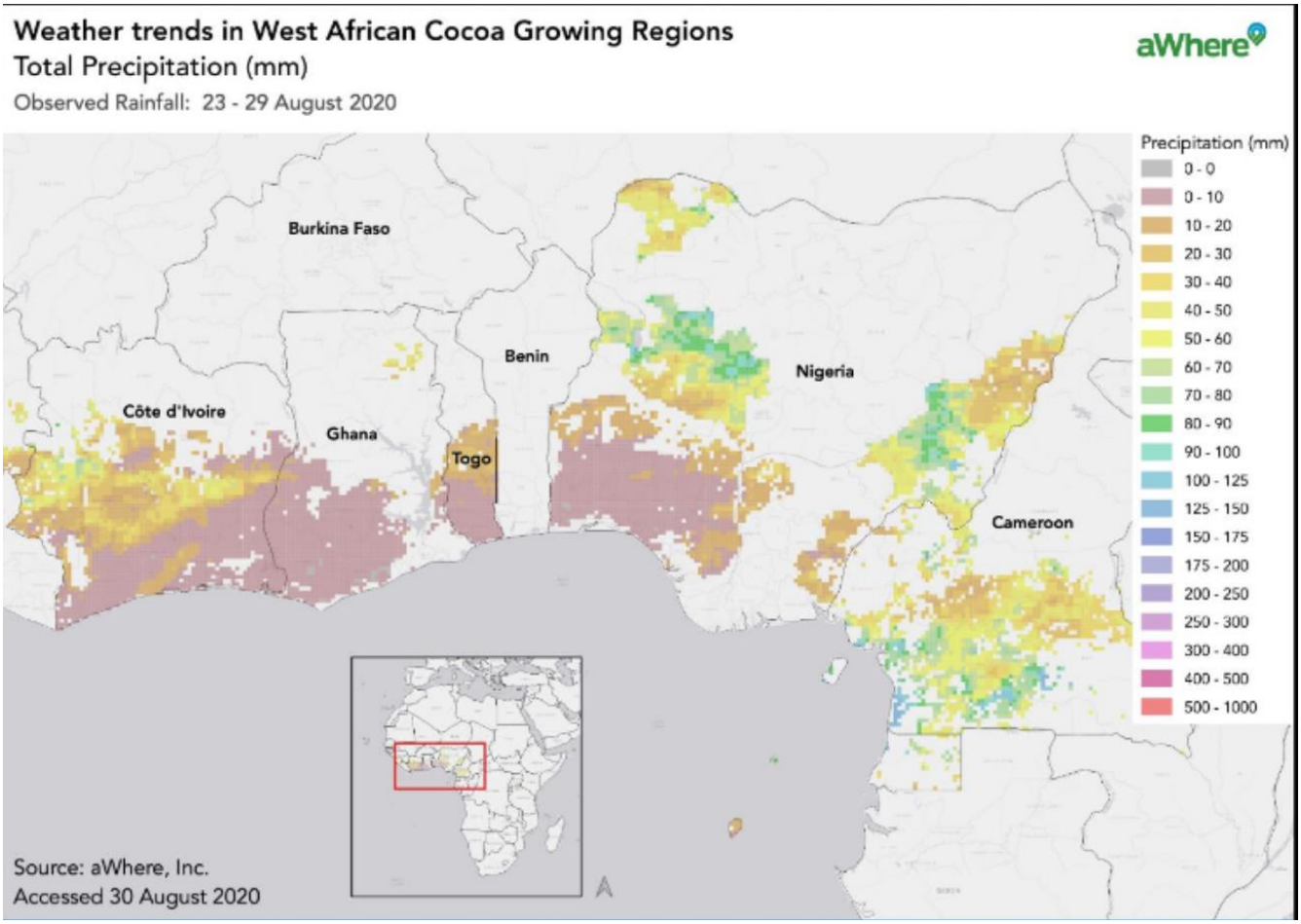
Producer/Merchant Processor/User		Swap Dealers			Managed Money			Other Reportables		
Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
COCOA - ICE FUTURES U.S. (CONTRACTS OF 10 METRIC TONS)										
CFTC Code #073732							Open Interest is 250,142			
Positions										
76,982	136,511	19,726	8,522	12,613	58,951	25,485	18,923	16,544	7,035	34,157
Changes from: August 25, 2020										
83	6,915	231	2,490	239	8,953	-1,585	2,203	95	1,196	7,456
Percent of Open Interest Represented by Each Category of Trader										
30.8	54.6	7.9	3.4	5.0	23.6	10.2	7.6	6.6	2.8	13.7
Number of Traders in Each Category							Total Traders: 232			
40	39	16	6	12	74	26	37	28	27	31

6. アフリカ UPDATE：コートジでは雨が乾燥を緩和し、ガーナは引き続き乾燥懸念(9/1)

ガーナの生産者が長引く乾燥に絶望し始めている間、コートジボアールでは、雨の戻りが、10 月に始まる主な収穫の前にカカオ農家によって歓迎された。「これまでカカオ農園ではすべてが乾燥していましたが、最後の２回の雨はカカオの木によく効きました」とボジの中心部の町のカカオ生産者であるゴランヒューバートは言った。さらに西側に住むガランゴの町の生産者は「再び雨が降り始めたが、それほど強くはなかった」と農園の状況が改善したことに同意している。

世界で２番目に大きな生産国である隣国ガーナでは、雨の不足に対する懸念が高まっている。ガーナ南西部の町、アプジャ出身のアベナクムワー氏は、「ほとんどすべての新しいカカオ植物と発育中の鞘が枯れてしまった」と語った。「カカオ生産者たちは心配しており、私たちは雨の兆候を探すために、毎日途方に暮れて、天を見つめています」と彼女は言った。

カカオ先物は火曜日にロンドンで過去５ヶ月の最高値に上昇しました。最近のカカオ価格の上昇は、コートジ、ガーナでのメインクロップの作柄に対する懸念とコートジの大統領選挙に対する潜在的な政治的緊張によって引き起こされています。



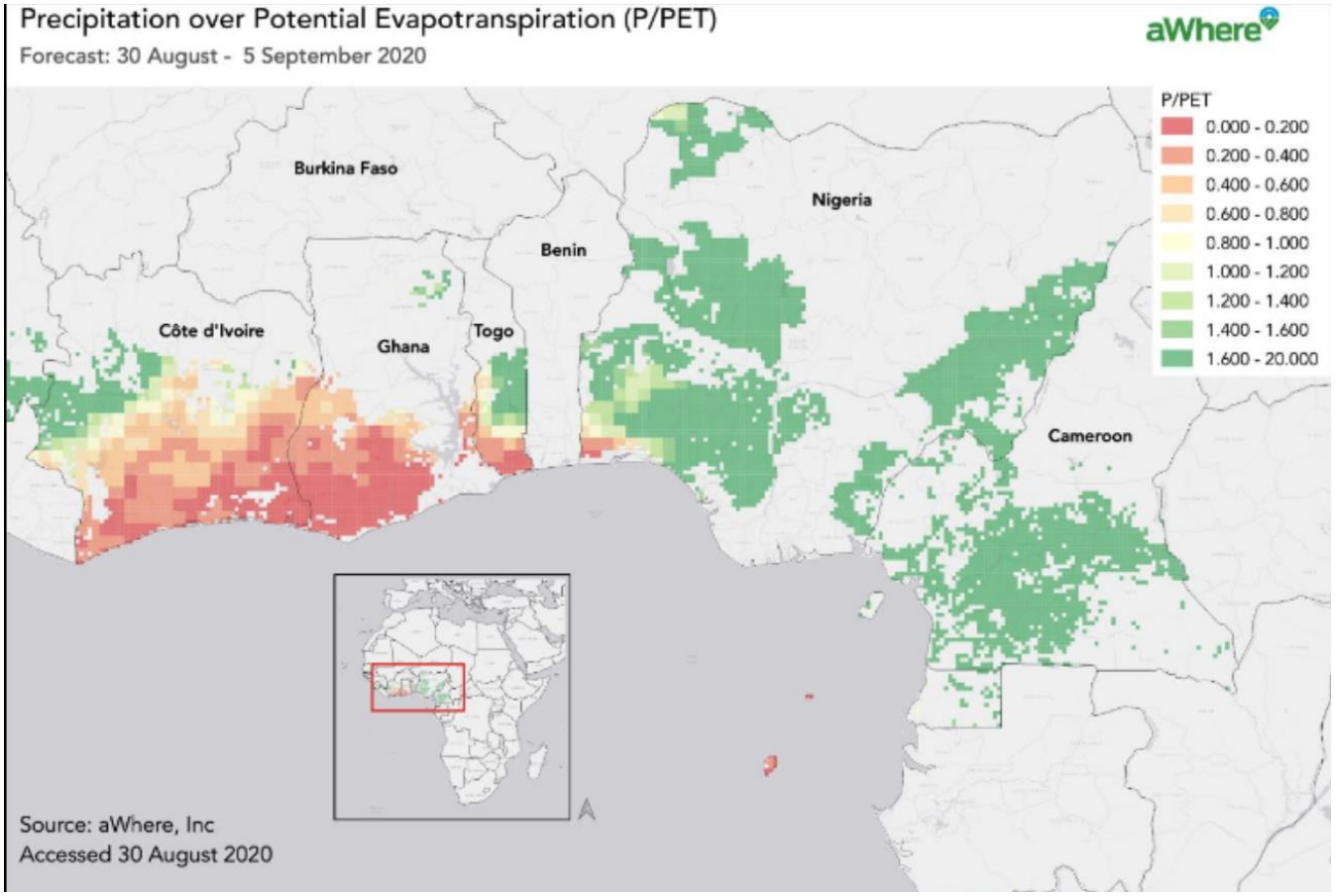
＊8 月 30 日までの週の西アフリカの降水量。マップのクレジット：aWhere。

カメルーンの洪水

カメルーン西部の都市 Dschang の南西約 70 キロの距離にあるあるサンチュウ村のカカオ生産者は、カメルーン西部のいくつかのカカオ農園地域が豪雨により破壊され、いくつかのアクセス道路が通行不能になったと語った。

ナイジェリアの乾燥

ナイジェリア南東部のイコム近くのカカオ農家、アタンバボンジョールによると、この地域では過去 3 週間で僅か 1 日だけ降水量が発生しています。彼は、通常だと不作になる可能性が高くなりつつあるが、まだカカオポッドがしっかりと成熟すると期待を捨てていないのに、更に現在の高温と乾燥が植物に害を及ぼし始めたと語る。でも、やはり「9 月下旬にはまだ豊作を望んでいます。」と希望を捨てていない。



＊P / PET は、降水量を地域の蒸発需要の比率として示しています。 1 未満の比率は、期間中の水分不足を示し、数値が低いほど、作物へのストレスが大きくなります。地図の引用≪aWhere≫

7. バリーカレボー：持続可能なチョコレートの取り組みを日本のパートナー各社と報告(9/3)

- 日本のチョコレート製造業者、職人、小売業者が、バリーカレボー主催のバーチャルプレスイベントに集まり、持続可能な未来を創造するという目標を共有。
- ショコラティエの皆様はベルギーのチョコレートブランド Callebaut®を通じて前進を続け、現在すべての製品で農家グループのトレーサビリティを 100%保証しています。
- 持続可能性はこれまで以上に重要。同社の調査によると、日本の消費者の 70%以上が持続可能なチョコレート製品は信頼性が高く、品質が高いと信じている。

チョコレートとココア製品の世界的大手メーカーであるバリーカレボーグループは、日本で限定的なバーチャルプレスイベントを開催し、チョコレートメーカーや、ショコラティエとの団結、コラボレーションを発表。持続可能チョコレートを日本市場の標準にするために、森永製菓、有楽製菓、ファミリーマート、G + Spread、Le Chocolat De H、チョコレートデザイン、前田商店などの小売業者、卸売業者が同席した。

2025 年までに持続可能なチョコレートを標準にするという Forever Chocolate のグローバルな立ち上げ以来、バリーカレボーは、過去数年にわたって、世界および日本でココアとチョコレートのバリューチェーンへの体系的な変更を強く求めて来た。さまざまな取り組みの中で、同社は、持続可能性をビジネス戦略の中心に置くようになりました。彼らはまた、同社独自の主要な持続可能性プログラムの 1 つである Cocoa Horizons の導入を導いており、原産国での持続可能性の取り組みに直接貢献するための効果的な手段と考えている。

＊上記写真は、バリーカレボー社の公式プレスリリースソースより。

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については,下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社　立花商　生田　w-ikuta@tachibana-grp.co.jp